



能勢高校ニュースレター

第55号 H.23. 11月発行

例年より気温が高く温かな日が続いていましたが、ようやく寒さが本格的になりそうな気配です。ニュースレター第55号をお届けします。

第62回日本学校農業クラブ全国大会に参加しました

10月25日(火)から27日(木)までの3日間、第62回日本学校農業クラブ(F F J)全国大会 平成23年度長崎大会が長崎県で開催されました。

この農業クラブ全国大会は、農業高校生の子園と呼ばれる大会で、プロジェクト発表会、意見発表会、平板測量競技会、農業鑑定競技会、家畜審査競技会、大会式典などが行われ、日本全国から約4000人のクラブ員が集まり、日頃の農業学習の成果を競い合います。本校からは、清水毅夫教諭の引率・指導のもと、平板測量競技会に、2年生の岩田明子さん、加堂汐梨さん、木本千晶さんの3名が大阪府代表として出場しました。平板測量競技会は、干拓地の中に広がる広大なグラウンドを有する諫早市営ソフトボール場で行われ、4つのグループに分かれて競技が進められました。最終グループとなった本校生たちの競技には、何とか応援に駆け付けたのですが、競技内容の情報漏えいを防ぐため非公開で行われました。競技の結果、本校生たちは入賞を逃しましたが、休みの日にもかかわらず、測定の練習に取り組んできた努力と熱意に対し敬意を表したいと思います。よくがんばりました。

この全国大会の最大のイベントである大会式典は、最終日、大村市体育文化センター(シーハットおおむら)メインアリーナで行われ、飛び入り出演のさだまさしさんがトークと歌を披露し式典に花を添えてくれました。さださんは、F F Jのイメージソングの作者で、長崎県出身ということもあり、大会実行委員の生徒の参加依頼に応じたとのことでした。式典では、各種競技会の表彰等が行われました

さて、平成28年度には、この日本学校農業クラブ全国大会を大阪で開催することが決まっています。すでに大阪府の農業系の高校(園芸・農芸・能勢・枚岡樟風・貝塚)では、準備組織を結成したところ



です。このような大きな大会を農業クラブ員と農業教員の少ない大阪で開催することには、大きな不安がありますが、大阪らしい大会になるよう準備を進めていきたいと思っています。



今年も留学生が来ています

ニュージーランドから留学生の Ta Eun Seo (ダイアナ) さんがやってきました。現在2年次生と共に学んでいます。ダイアナさんからの挨拶文を掲載します。

みなさん、こんにちは。Hello everyone, I'm Diana Seo from New Zealand. I am an AFS exchange student, currently being hosted by the Harada family in Nose. I come from a city called Christchurch in the South Island of New Zealand. Like Japan, Christchurch was hit by an earthquake in last September, February and June. However, I am happy to say that Christchurch is recovering steadily from the catastrophe, just like Japan. At the moment I am in the second year at the Nose Senior High School, where, despite its small size, I have gotten lost too many times to count. It's a real challenge trying to remember my classmates' names, but I am certainly making progresses day by day. Of course, I cannot understand what the teachers are saying during the classes, but I am hoping that some day, I would be able to speak Japanese fluently. In Nose Senior High School, I am in the badminton club, but also had the opportunity to participate in the tea ceremony club. The whole procedure was quite intense - I could honestly feel the traditional Japanese culture from every corner of the room. Needless to say, I very much enjoyed the small biscuit that came along with the tea. For the next five months in Japan, I hope to improve my Japanese and learn more about the fascinating culture of Japan. Opportunities such as exchanges are hard to come by, and I intend to make the most of it during my stay. As they say, "It's better that you're prepared and the opportunity hasn't come by yet, than be unprepared when the opportunity arrives."

「みなさん、こんにちは。私はニュージーランドから来ましたダイアナ セオです。AFSの留学生で、能勢の原田さんのお家にホームステイしています。ニュージーランド南島のクライストチャーチという町から来ました。クライストチャーチは、昨年9月、今年2月、6月に、日本と同じように地震に襲われました。しかし、クライストチャーチが日本とまったく同じように、大災害から確実に復興に向かっていく事をうれしく思います。現在、私は能勢高校の2年生で過ごしています。能勢高校は小さな学校ですが、私は校内でしょっちゅう迷子になっています。またクラスメイトの名前をなかなか覚えられずに苦労していますが、でも毎日少しずつ覚えています。もちろん、授業中に先生が何を話しているのか理解できませんが、近いうちに、日本語が上手に話せるようになりたいです。能勢高校では、バドミントン部に入っています。また、茶道部にも参加させてもらっています。茶道はそのすべてがとても深く、作法室全体から日本の伝統文化をひしひしと感じます。言うまでもないことですが、お茶と一緒に運ばれてくる和菓子が大変楽しみです。日本でこれから過ごす5ヶ月、私は日本語が上達し、日本の魅力的な文化についてもっと学びたいです。交換留学生はなかなか与えて貰えない機会ですので、私はこの日本での滞在の間、自分に与えられた機会を最大限に生かしたと思います。「準備していないのに、チャンスが来ってしまうより、準備をしているのにチャンスが来ない方がましである。」のですから。>>

**第6回大阪府高等学校総合学科教育研究大会で
本校生がESD活動について発表しました**

11月8日(火)、大阪府教育センター大ホールにて、第6回大阪府高等学校総合学科教育研究大会が盛大に開催され、本校からは、2年生2名と1年生4名が参加し、この夏に体験した、オーストラリア国際交流研修、ユネスコ学びの交流会、観光甲子園など、本校ESD(持続発展教育)活動について堂々と発表し、パネル展示も行いました。

この大会は、総合学科高校の生徒たちが、日ごろの様々な体験や特色ある学習を通じて得られた成果をとりまとめ、それらを発表する(プレゼンテーションする)ことにより、学びをより深めていくものです。また、総合学科高校の魅力が大きく発信する絶好の機会となっています。

今大会のテーマ「希望を胸に」は、東日本大震災などの災害に立ち向かい、復興の礎となる元気や活力を総合学科高校から発信していくものです。各校の代表生徒の発表は、自分たちの思いと元気をしっかりと聴衆に伝えることができ、見ごたえの・聴きごたえのあるものばかりでした。

また、アトラクションとして、八尾北高校の中国帰国生徒などによる中国獅子舞、扇町総合高校の吹奏楽が披露されるなど、とても楽しく充実した時を過ごすことができました。(校長)



④パワーポイントを使った
本校ESD活動の発表



発表中の本校生たち⑤

第19回大阪府産業教育フェアに参加しました

10月22日(土)・23日(日)の2日間にわたって弁天町オーク200で開催された第19回大阪府産業教育フェアに参加しました。この「産フェア」は大阪府下の実業系高等学校(43校)が一堂に集まり、日頃の教育活動の成果を紹介するイベントです。ロボット相撲やファッションショー、マッサージ体験や橋の強度を競うブリッジコンテスト、ふれあい動物園やフラワーアレンジメント等、非常に盛りだくさんの内容のものです。本校にはかつて園芸科があり、そのDNAは現在4つある総合学科「食・花・交流」系列に受け継がれています。草花・果樹・野菜の栽培やその活用、あるいは小動物の飼育や環境等の教育を行っています。今年度の「産フェア」では、『能勢の里山』をイメージした展示や、準絶滅危惧種であるアカハライモリの生態とセミの抜け殻から考える地球温暖化についての解説及び蜂蜜・栗・黒米の販売を、農業クラブの生徒である篠崎さん、川原君、門田君、新家君で行いました。また、開会式に生徒会長の大日野君が旗手として参加し、閉会式においては生徒会役員の阪下さんと松下さんが爽やかに務めました。また今年もPTAの方に合同説明会開催のご協力を賜り、誠にありがとうございました。こころより御礼申し上げます。来年は記念すべき第20回です。能勢高校はさらにパワーアップした展示や販売で参加予定ですので、是非一度ご覧いただきますようお願いいたします。(ホームページに参加生徒の感想文を掲載しています。是非アクセスしてごらんください。)



学校説明会及び能勢高校体験入学会(連携中学2年生対象)を実施します

学校説明会 12月3日(土)午前9時
連携中学(2年生)体験入学会 12月13日(火)午後

学校説明会では体験授業はありませんが、本校の概要説明と施設見学を行います。本校の多様な学びについて説明いたしますので、どうぞお越しください。(中学校を通じて申込んでください)

本校では、ニュースレターでお知らせしているように、実に様々な取り組みを行っています。その結果、生徒の課題解決力や調査力が高まり、プレゼンテーションやコミュニケーションの力が増します。その基礎となるのが4つの系列からなる本校のカリキュラムであり、本当に熱心に指導する先生たちです。本校の教育の特徴を以下に列挙します。

多様な学びを実現する「総合学科」

- ・『人文理数』系列を設置し、難関大学受験に対応
- ・系列ごとの必修科目の設定による系統的学習

徹底したキャリア教育

- ・少人数習熟度別クラス編成による能力に応じた指導
- ・放課後や長期休業中の講習実施と熱心な指導
- ・一人ひとりに応じた丁寧な進路指導

能勢高ならではの取り組みや部活

- ・ユネスコスクールや観光甲子園
- ・全国レベルの農業クラブ、空手道、ビームライフル
- ・技術指導者のいる、硬式野球、バスケット、サッカー、ラグビー

思いっきり勉強ができ、部活もすぐにレギュラーの能勢高へ行こう!